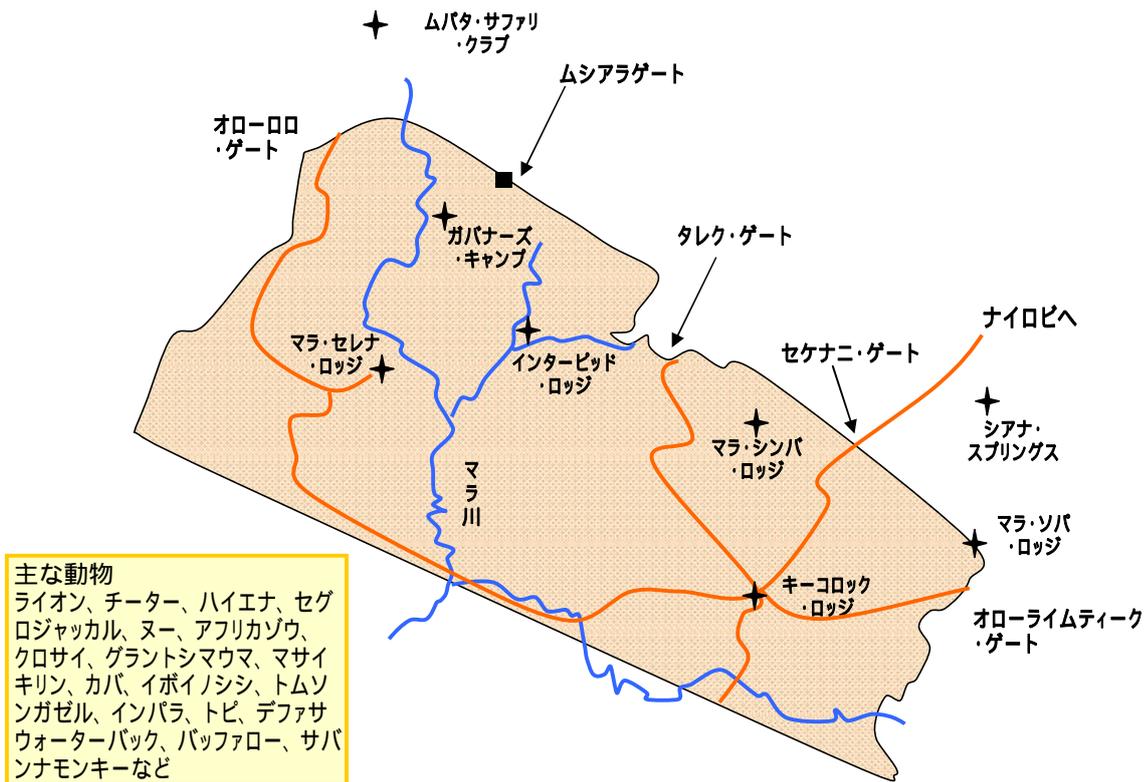


マサイ・マラ国立保護区



主な動物
 ライオン、チーター、ハイエナ、セグロジャッカル、ヌー、アフリカゾウ、クロサイ、グラントシマウマ、マサイキリン、カバ、イボイノシシ、トムソンガゼル、インパラ、トビ、デファサウウォーターバック、バッファロー、サバンナモンキーなど

ケニヤ南西部、ナイロビから約280Km(車で約5時間、軽飛行機で約1時間)。面積は大阪府に匹敵し、ライオン王国とも言われるケニヤを代表する国立保護区。タンザニアのセレンゲティ国立公園とは、国境を挟んでつながっている。保護区内は大草原、疎林帯、沼沢地、川、丘陵と変化に富んでいて、動物の種類もケニヤで一番多い。ライオン、チーターなどの肉食獣が多いため、草食動物と肉食動物との関係や、生態系のつながりを実感出来る。

= ヌーの大移動 =

タンザニアのセレンゲティ国立公園とケニヤのマサイ・マラ国立保護区の間を、ヌー(ウシカモシカ)の群れが1年のサイクルで大移動をしている。毎年4月頃、セレンゲティにヌーが集まり出し、移動の準備をする。これらのヌーが移動を終えてマサイ・マラに入るのは6月~7月頃で、そのまま10月頃まで滞在する。10月~12月にかけて、今度はマサイ・マラからセレンゲティへの移動が始まる。この大移動は、雨とそれに伴う草の新芽を求めているものとされており、移動の時期はその年の気象条件によって若干左右されるが、150万頭近いヌーが草原を埋め尽くす。また、8月下旬から9月中旬にかけては、有名な「マラ川の川渡り」が見られる。



= ロッジ =

ムバタ・サファリ・クラブ マサイマラを見下ろすオロロロの丘に点在する23棟の客室バンダをはじめ、レストランやプールなども完備。スイートルームでは、室外のベランダにあるジャグジーに入りながらサバンナを眺めることも可能。ナイロビ-マサイマラ間を1日2往復している国内線を利用すると便利。日本語スタッフがいる。



マラ・シンバ・ロッジ 部屋は比較的大きめで、室内のベランダからは川を眺めることが出来る。プールや各種ツアーも充実している。

キーコロク・ロッジ 広い庭やカバなどのいる池、散歩道も有ります。お土産店がどこよりも大きく好評です。

マラ・セレナ・ロッジ マサイ族の家をまねて型どったコテージが、なだらかな丘陵沿いにずらりと並んでいる。全74室(内ツイン72室)。小高い丘の上なので、テラスからの見晴らしが良い。



アシュニール マラ 2010年オープンの新しい宿泊施設です。マラ川に程近くゲームドライブに絶好のロケーションです。総客室30部屋(テント)

